

---

学生主導の活動が地域を興し

地域の未来を創る

高畠町商工観光課 ブランド戦略係長 鈴木祐介

---

# 山形県高畠町とは

人口 約22,000人

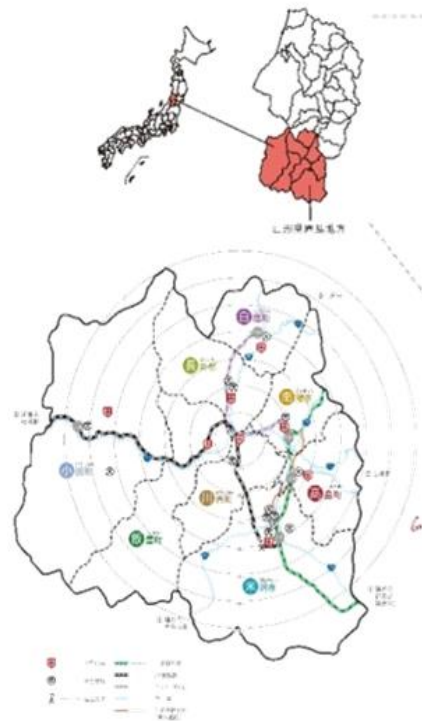
東京駅から新幹線で2時間15分

1973年、近代農業が推奨される時代に地域環境を大切にするため高畠町有機農業研究会を地域の若手農業者が立ち上げた。有機農業の分野では全国でも注目を集め、現在も有機農業水稻栽培面積は山形県内でトップを牽引し続けている。

また、県内でも食品加工業が特出している地域であり、ジャムやドレッシング、ワイン、日本酒などが製造され、全国の百貨店等でも人気のあるものが多い。ここ数年、JR東日本と連携し、海外への販路拡大（輸出）とインバウンド拡大に挑戦している。

近年、町の次世代リーダーを育てる人財育成事業が始まり、県外から住所を異動せずに地域内の学校に転入できるデュアルスクールの導入など、地域内外の人との交流事業が広がっている。

まちづくりは、ひとづくり。面白い人たちが集まり地域を創る。



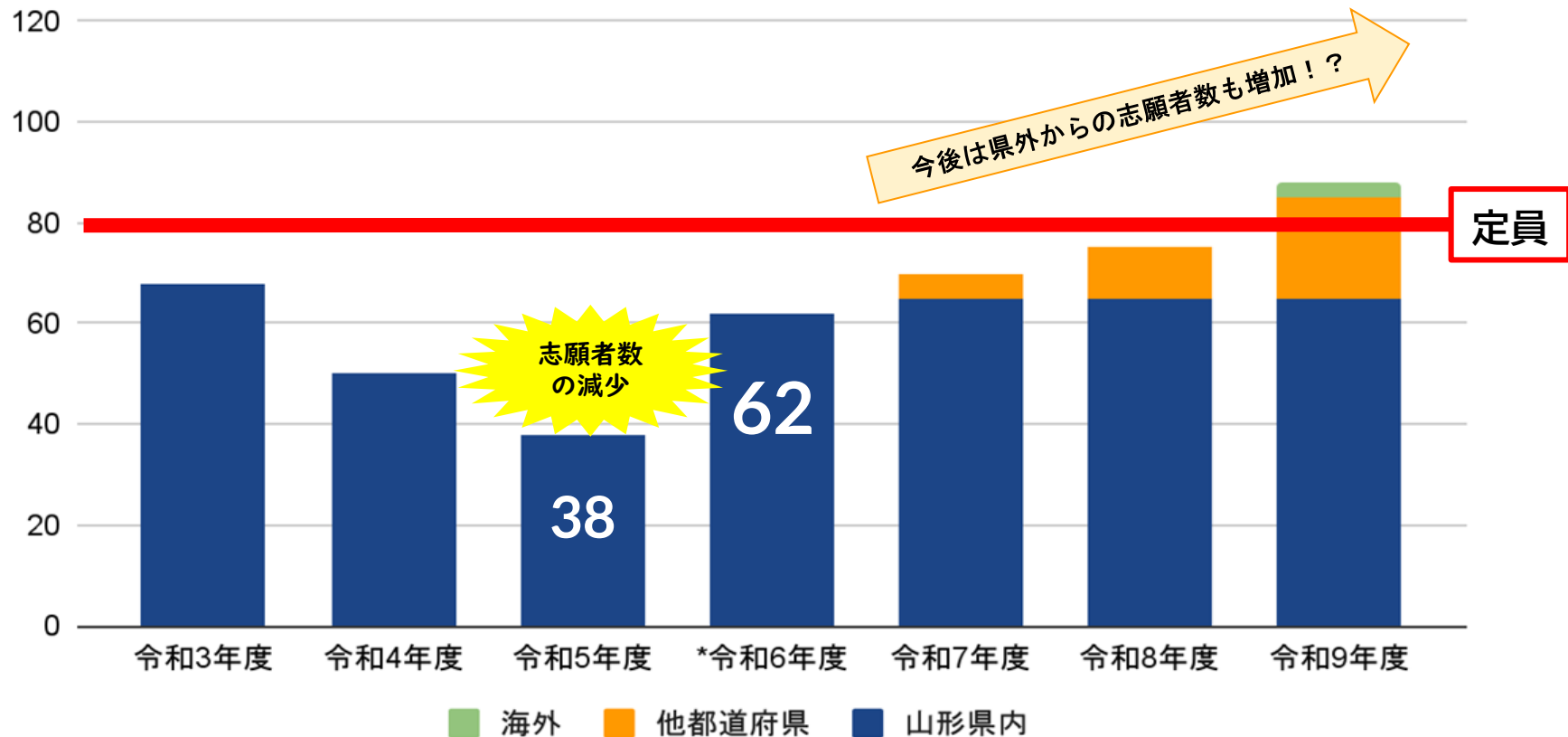
魅力的な地域資源（ヒト、モノ、コト）が地域にはたくさんあるが  
地域に関わる機会が少ない



地域の魅力を知らずに、町を出ていく  
若者の流出、地域力の低下、地域産業の弱体化



# 高畠高校志願者数



## 山形県立高畠高校の魅力化へ向けた活動で 学生にわくわくを！

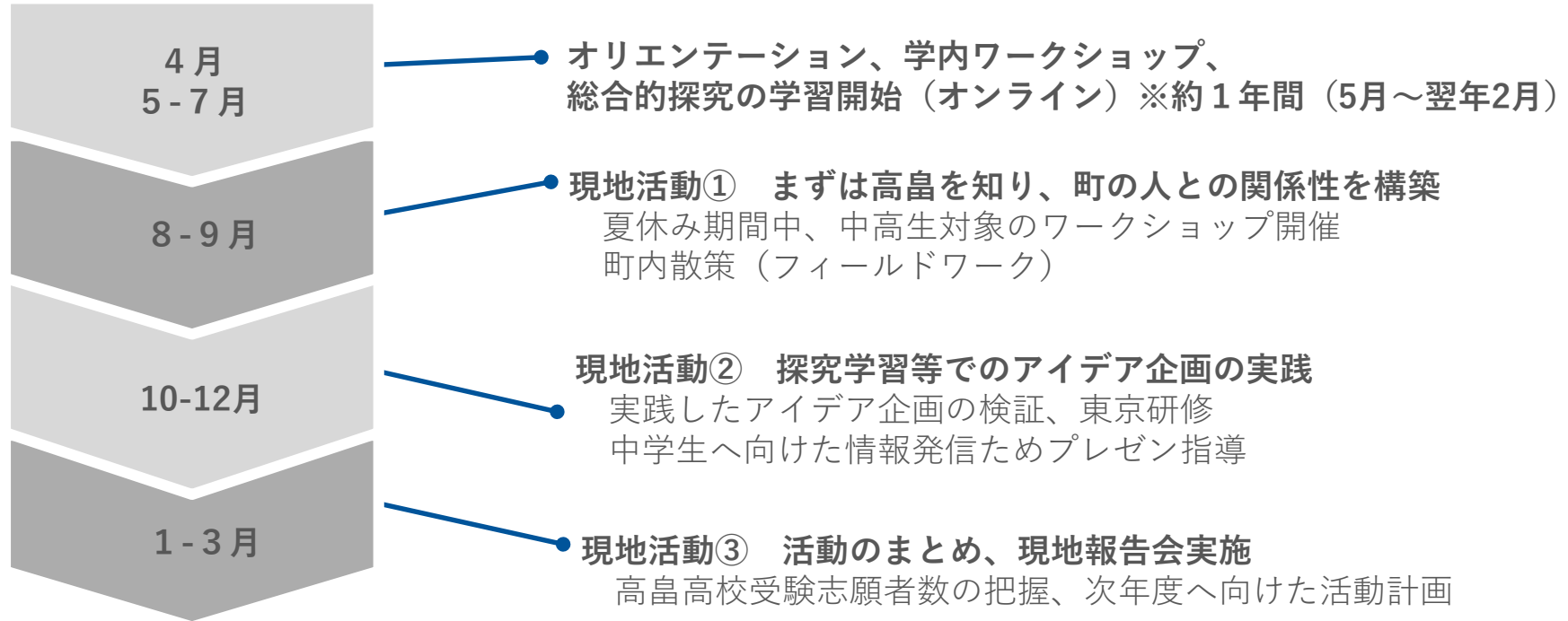


1. 総合的な探求の学習の時間を担当  
(毎週木曜 14:25-15:15) ※オンライン授業
2. 多様な関係者とのフィールドワーク  
(アイデア吸収・魅力発見の機会創出)
3. 外部の機関・組織・人をつなぐ  
(大学生がハブとしての役割を担う)

- ・ 役場、地域おこし協力隊、学校との定例MTG（月1回程度）の開催
- ・ 授業後の振り返りMTG（30分程度/毎回）
- ・ 高畠町立中学校への情報発信、中学生との共創活動の場の創出

アイデアの考案、実践、分析、検証！ **高畠高校の志願者数を増やす！**

# 2024年度東大FS 事業スケジュール（予定）



※関係者（役場、学校、学生）合同定例MTGは、月1程度で開催  
※関係者間の連絡は、LINEグループやGoogleチャットを使用する